

## 新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	理科授業における不確定な情報を含む科学的情報に対する学習者の思考・判断に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>研究対象者は、新潟大学附属長岡中学校の令和8年度3年生の3クラス（約120人）、広島大学附属東雲中学校の令和8年度1年生の3クラス（約120人）、広島大学附属小学校の令和8年度5年生の2クラス（約70人）です。対象期間は、7月で予定しているPFASを取り扱った理科授業の2～4時間です。</p>	
③概要	
<p>本研究は、理科授業において複数の価値観や利害が関わり、学習者にとって身近であり、不確実性を含む問題であるPFAS（有機フッ素化合物）を取り扱います。授業は、学習者が提示された資料を読み取り、グループでの議論を通して不確定な情報を含む科学的情報の信頼性や妥当性を評価し、PFASの規制について科学的根拠に基づいて意思決定を行うものです。分析には、授業で使用したワークシート、音声データおよび事後アンケートを用います。</p>	
④申請番号	2026-0003
⑤研究の目的・意義	<p>本研究では、不確定な情報を含む科学的情報に対して学習者がどのように考え、判断したのかを明らかにすることが目的です。また、議論によって考え方や判断が変容するかについても明らかにします。この調査結果から、教師は情報に対する視点や議論の目的をどの程度学習者たちに明示的に提示するべきかを検討し、授業の展開や配付資料の改善につなげます。これにより、不確定な情報を含む科学的情報に対し、学習者がより科学的根拠に基づいた意思決定をすることが可能になると考えられます。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から令和9年3月30日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>本研究で収集したワークシート、音声データおよび事後アンケートは、学習者が不確定な情報を含む科学的情報に対してどのように思考・判断したかを明らかにするために利用されます。これらのデータは、新潟大学教育学部理科教育学研究室内でのみ利用されます。8月1日以降に個人が特定されないように匿名化したうえで、記述内容の分析に用います。本研究の成果は、研究者が所属する研究室、研究科および学会において論文や口頭発表によって公表されますが、その際、学校名および個人名は一切公表されません。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	授業で用いたワークシート、授業中の議論における音声データ、事後アンケート
⑨利用する者の範囲	新潟大学で利用いたします。

	新潟大学大学院 現代社会文化研究科 講師 中西 裕也 新潟大学大学院 現代社会文化研究科 博士前期課程 森 香菜子
㊤試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院 現代社会文化研究科 講師 中西裕也
㊤お問い合わせ先	<p>ワークシートおよび事後アンケートの回答，音声データを研究に使用されたくない場合は，7月31日までに理科授業担当者にお申し出いただくか，下記にご連絡をお願いします。また，本研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>所属：新潟大学大学院 現代社会文化研究科 講師 氏名：中西 裕也 Tel：025-262-7269 E-mail：ynakanishi@ed.niigata-u.ac.jp</p>